

3. 脚部を折畳む事ができるので収納場所をとらない。

等です。

そこで今年度はこのベッドサイドテーブルに回転お膳を埋めこみ使用しました。

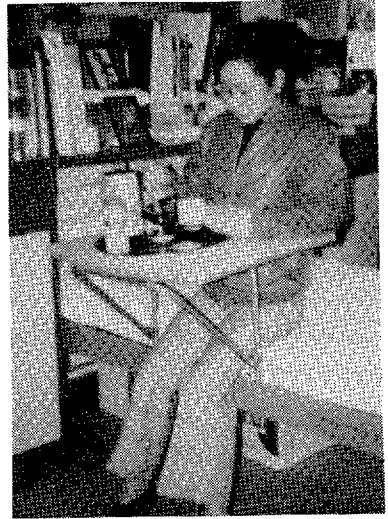
< 成 果 >

1. 今迄自力で食物を自由に選べなかった患児でも、指先の少しの力でお膳を回転させて、好みの食物をたべさせてもらう事ができます。

< 終 り に >

このテーブルを作る事により、今迄の単調なベッド生活から楽しみのある生活に少しでも近づける事ができたのではないかと思います。

今後も患児の成長期の観察を密にし、日常生活の自助具の工夫と改良に努力したいと思います。



20) 各種機械器具開発について

国立療養所南九州病院

中島 洋明 新居 正信 吉永 京子
川 平 稔 (鹿児島大学第三内科)

< ヘルメット型ヘッドサポーター >

方 法

大きさは横 18.5cm、タテ 20.0cm、高さ 16.5cm、厚さ 0.7cm、重量は約 310g の写真 1 に示したもので、材質は義足の内張りによく利用される p-ライトスポンジ 4mm 板に軟ポリピレン板 4mm を外板に使い、この軟ポリピレンの内側に p-ライトスポンジを縫い合せた構造で、額、耳介部、後頭部にスポンジを張り合わせてある。頭頂部には、汗抜き用の円窓をつけた。(写真 1 参照)

結 語

従来のヘッドサポーターでは、しばしば転倒により頭頂部を打撲するものがあり、側面の一部を防御する効果しかなかったため、挫傷を防げなかった。このヘルメット型では、頭がすっぽりはいて耳介も含めて広範囲の防御が可能となった。

〈坐椅子型シーネ〉

Duchenne型DMPの肥満型の例で、脊柱が弛緩し、坐位で後側彎が顕著となり、坐位保持が困難となる者があり、仰臥位では、余り変形は目立たない。このような2例に対し、脊柱を伸ばし、脊椎変形や拘縮の予防になるように、しかもベッド上、車椅子上でも利用できるように、坐椅子型シーネ(写真2)を考案した。これにより坐位保持が容易で、坐位によるADLも向上し、脊椎変形の防止にも役立っている。

写真1
ヘルメット型ヘッドサポーター

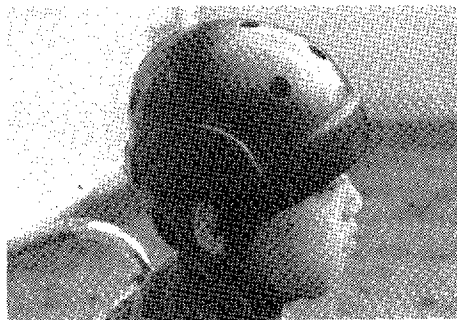
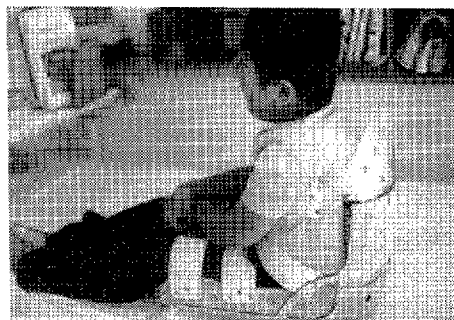


写真2
坐椅子型シーネ



↓
検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります
↓

<ヘルメット型ヘッドサポーター>

方法

大きさは横 18.5cm、タテ 20.0cm、高さ 16.5cm、厚さ 0.7cm、重量は約 310g
の写真 1 に示したもので、材質は義足の内張りによく利用される p-ライトス
ポンジ 4mm 板に軟ポリピレン板 4mm を外板に使い、この軟ポリピレンの内側に
p-ライトスポンジを縫い合せた構造で、額、耳介部、後頭部にスポンジを張り
合わせてある。頭頂部には、汗抜き用の円窓をつけた。(写真 1 参照)